

2014年3月期 第3四半期 決算補足資料

**2014年1月30日
NECキャピタルソリューション株式会社**

1. 2014年3月期 第3四半期実績報告

1) 連結決算ハイライト

【事業環境】

- ・リース取扱高は前年同期比増加
- ・資金調達環境は引続き良好な状況を維持
- ・倒産状況については、負債総額・件数共に前年同期比減少

【営業トップライン】

- ・賃貸・割賦事業については、契約実行高、成約高共に前年同期比伸長

＜賃貸・割賦事業＞

契約実行高：16.6%増 (小口除く 17.7%増)

成約高 : 14.7%増 (小口除く 15.5%増)

＜営業貸付事業＞

契約実行高：12.9%減 (一括ファクタ除く 6.5%減)

成約高 : 13.0%減 (一括ファクタ除く 6.7%減)

【経営成績】

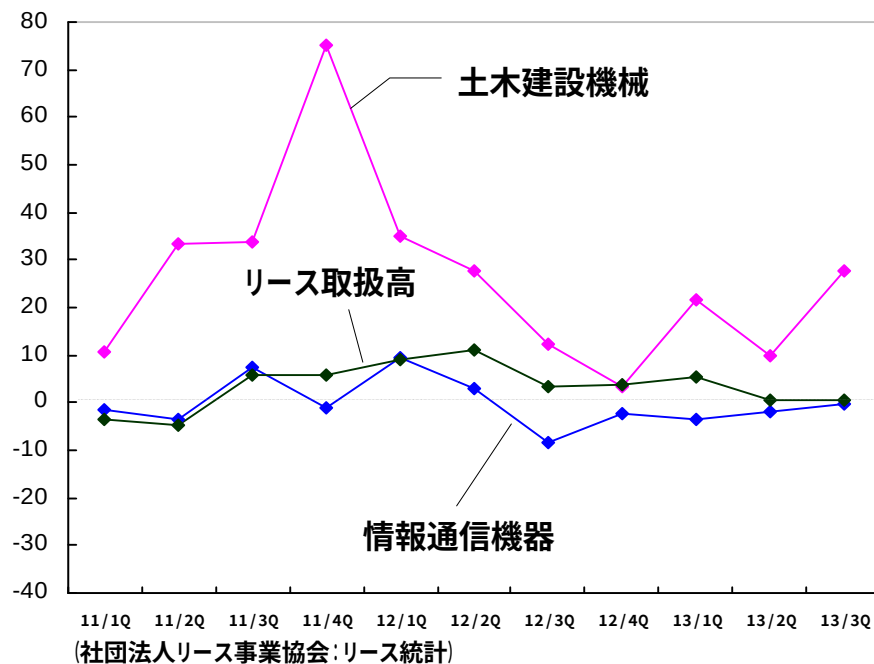
- ・与信コストの改善及びファンド収益の拡大により、期首予測を上方修正

1. 2014年3月期 第3四半期実績報告

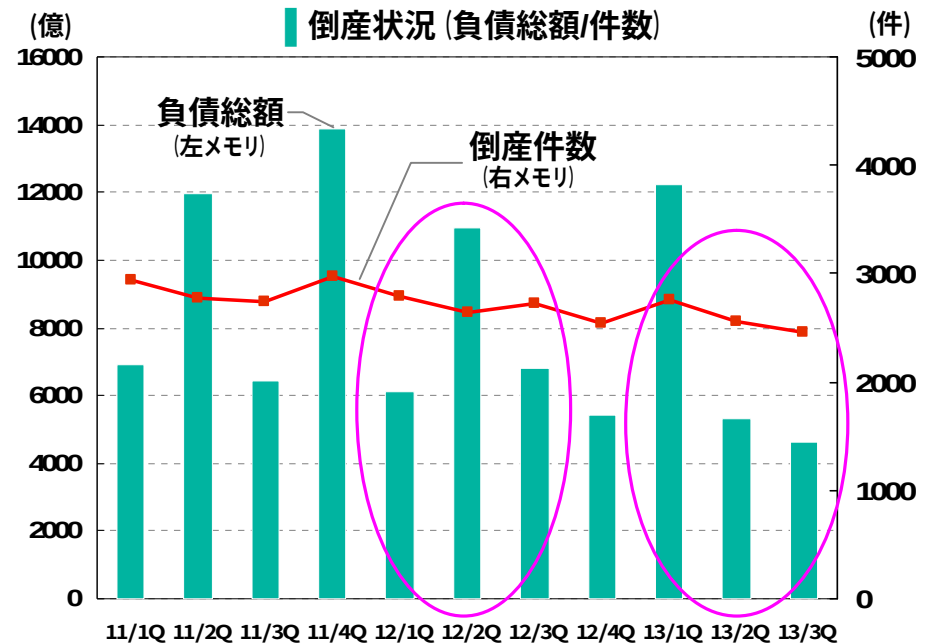
2) 事業環境

- リース取扱高: 当社の主力である情報通信機器については前年同期比微減
土木建設機械が好調に推移していること等から、
業界全体のリース取扱高は、前年同期比増加
- 倒産状況 : 当第3四半期累計期間における負債総額は、前年同期比減少
また、倒産件数についても同様の傾向

リース取扱高の足元の動向 (前年同期比推移)



倒産状況 (負債総額/件数)



(帝国データバンクHP:倒産集計より)

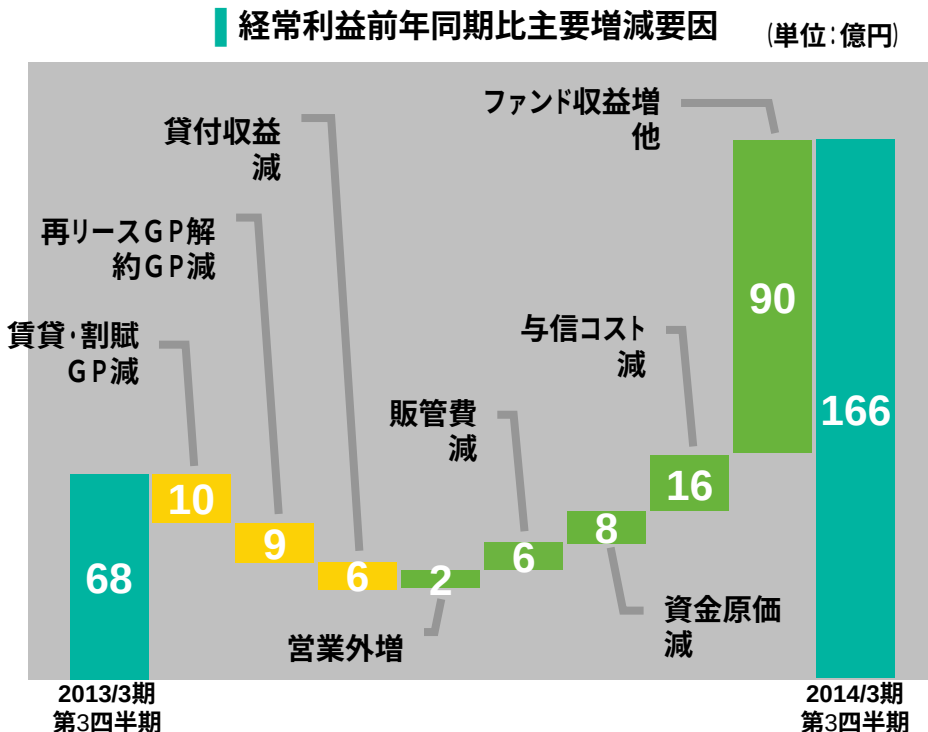
1. 2014年3月期 第3四半期実績報告

3) 業績概要 (連結)

- ・ 売上高 : 売上高はほぼ前年並みを確保
- ・ 経常利益 : アセットの利回り低下に伴い、リースGPが前年同期比減少となったものの、引当先の債権残高減少及び正常化に伴う貸倒引当金の戻入や、大型のファンド収益計上により、前年同期比145.2%増
- ・ 自己資本比率 : 8.8% (11/12末) → 9.2% (12/12末) → 10.2% (13/12末)

(単位: 億円)

	2013/3期 第3四半期	2014/3期 第3四半期	前年同期比
売上高	1,756	1,722	▲1.9%
営業利益	66	162	146.3%
経常利益	68	166	145.2%
四半期純利益	38	49	30.4%
1株当たり四半期純利益	175円73銭	229円16銭	—
営業資産残高	6,524	6,233	▲4.5%
純資産	816	789	▲3.3%
自己資本	671	719	7.1%
自己資本比率 (%)	9.2	10.2	1.0
1株当たり配当金 (円)	22	22	—



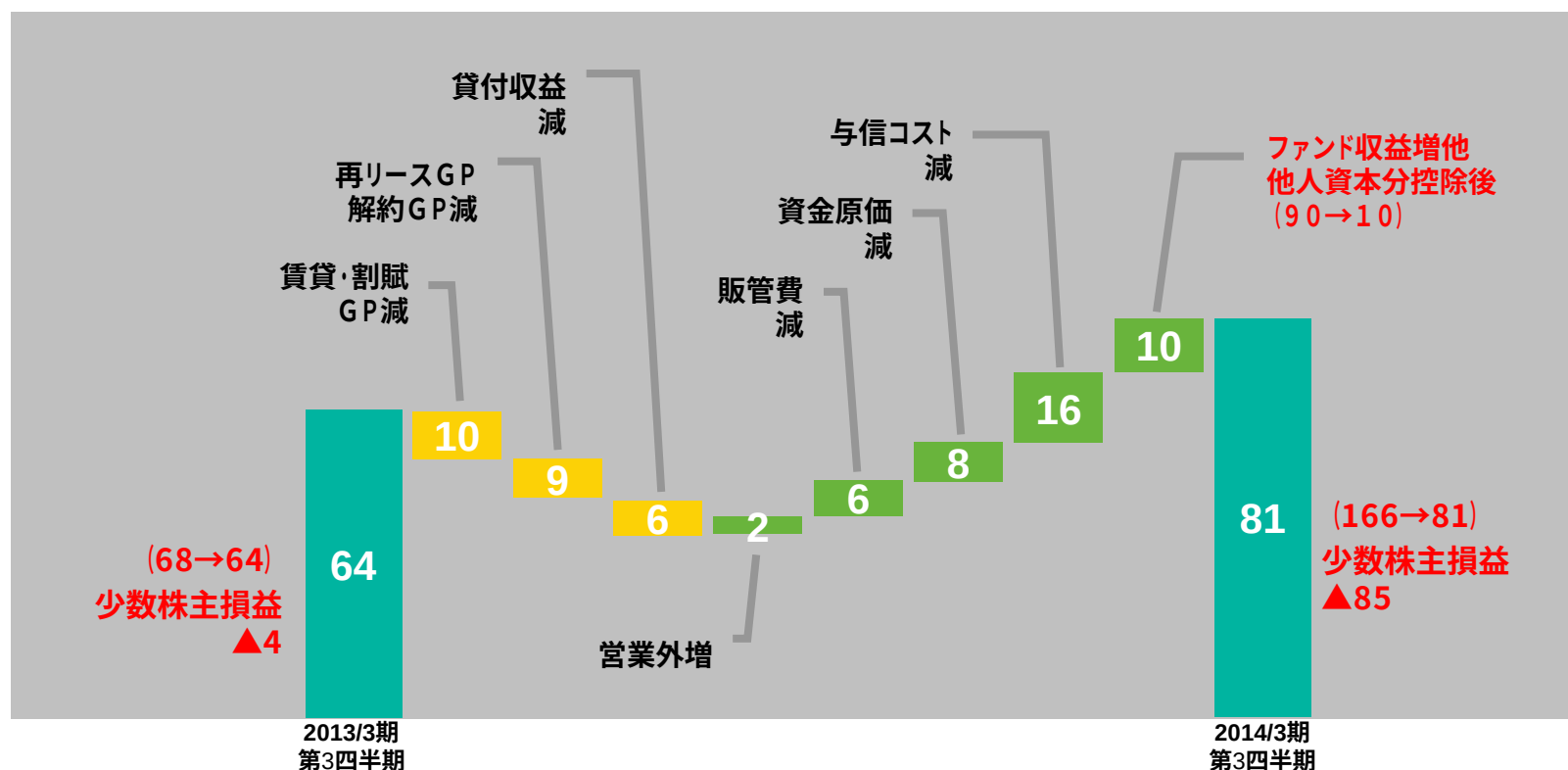
1. 2014年3月期 第3四半期実績報告

参考) 業績概要 (連結) 少数株主損益控除後経常利益

・少数株主損益を除いたNETベースの経常利益は、前年同期比27.9%増の81億
※少数株主損益とは、ファンド収益の内、出資を募った他人資本の取分。これを控除した部分がNETベースの収益となる

経常利益 (少数株主損益除く) 前年同期比主要増減要因

(単位: 億円)



1. 2014年3月期 第3四半期実績報告

4) 事業別収益 (連結)

事業別収益

(単位: 億円)

		2013/3期 第3四半期	2014/3期 第3四半期	前年同期比
賃貸・ 割賦事業	売上高	1,370	1,354	▲1.2%
	売上総利益	114	106	▲7.0%
	営業利益	84	67	▲19.9%
営業貸付 事業	売上高	32	26	▲19.4%
	売上総利益	28	19	▲33.6%
	営業利益	0	20	-
リサ 事業	売上高	254	225	▲11.3%
	売上総利益	33	130	289.2%
	営業利益	7	99	-
その他の 事業	売上高	130	117	▲10.2%
	売上総利益	11	1	▲94.6%
	営業利益	▲6	▲13	-
計	売上高	1,756	1,722	▲1.9%
	売上総利益	180	255	42.2%
	営業利益	66	162	146.3%

※短信セグメント情報のうち、「調整額」を除いて表示

<<賃貸・割賦事業>>

・売上高は、前年同期比1.2%減。アセットの利回り低下による粗利の減少や、倒産コストの増加もあり、営業利益は前年同期比19.9%減

<<営業貸付事業>>

・売上高は、前年同期比19.4%減となったものの、倒産コストの減少により、20億円の営業利益を確保

<<リサ事業>>

・前年同期に大型の不動産売却があったこと等により、売上高は前年同期比11.3%減となった。一方で営業利益についてはファンドのEXIT等により、前年同期比大幅増加の99億円

<<その他の事業>>

・前年同期に大型の解約売却があったこと等により、売上高は前年同期比10.2%減。また、満了・解約損益の悪化に伴う粗利の減少等により、13億円の営業損失

1. 2014年3月期 第3四半期実績報告

5) 事業別契約実行高の状況 (連結)

事業別契約実行高

(単位:億円)

	2013/3期 第3四半期	2014/3期 第3四半期	前年同期比
賃貸・割賦事業	944	1,101	16.6%
賃貸事業	912	1,077	18.2%
割賦販売	33	24	▲26.3%
営業貸付事業	2,105	1,833	12.9%
営業貸付金	1,196	1,118	▲6.5%
一括ファクタリング	909	715	▲21.4%
その他の事業	21	22	5.5%
計	3,069	2,956	▲3.7%

事業別成約高

(単位:億円)

	2013/3期 第3四半期	2014/3期 第3四半期	前年同期比
賃貸・割賦事業	1,218	1,397	14.7%
賃貸事業	1,186	1,373	15.7%
割賦販売	32	24	▲23.6%
営業貸付事業	2,104	1,830	13.0%
営業貸付金	1,195	1,115	▲6.7%
一括ファクタリング	909	715	▲21.4%
その他の事業	20	23	13.3%
計	3,342	3,250	▲2.8%

《契約実行高》

- ・賃貸・割賦事業においては、各種施策が奏功したことに加え、大口契約を獲得したこともあり、前年同期比16.6%増と伸長
- ・営業貸付事業については、一括ファクタの落ち込み等もあり、前年同期比12.9%減

《成約高》

- ・賃貸・割賦事業においては、大口契約を獲得したことにより、前年同期比14.7%増と伸長
- ・営業貸付事業については契約実行高と同様の展開

1. 2014年3月期 第3四半期実績報告

6) 賃貸・割賦事業の営業状況 (連結 小口除く)

業種別契約実行高 (除く小口)

(単位: 億円)

	2013/3期 第3四半期	2014/3期 第3四半期	前年同期比
官公庁	471	429	▲8.8%
民需	465	672	44.5%
サービス業	122	90	▲26.6%
流通業	92	125	34.8%
製造業	168	358	113.7%
その他	83	100	20.1%
計	936	1,101	17.7%

【参考】 小口含む計

944 1,101 16.6%

業種別成約高 (除く小口)

(単位: 億円)

	2013/3期 第3四半期	2014/3期 第3四半期	前年同期比
官公庁	767	763	▲0.5%
民需	443	634	43.2%
サービス業	116	90	▲23.1%
流通業	94	140	49.2%
製造業	162	302	86.6%
その他	70	101	44.8%
計	1,210	1,397	15.5%

【参考】 小口含む計

1,218 1,397 14.7%

機種別賃貸事業契約実行高 (除く小口)

(単位: 億円)

	2013/3期 第3四半期	2014/3期 第3四半期	前年同期比
情報通信機器	685	614	▲10.4%
電子計算機及び関連装置	304	288	▲5.2%
ソフトウェア	344	301	▲12.5%
通信機器及び関連装置	37	24	▲33.6%
事務用機器	20	36	83.6%
その他機器	231	451	95.6%
計	936	1,101	17.7%

【参考】 小口含む計

944 1,101 16.6%

- ・業種別の契約実行高は、前年大口案件のあった官公庁が前年同期比減少
- 一方、民需は、前年大口案件のあったサービス業が前年割れとなったものの、今期大口案件があった製造業は前年同期比伸長
- ・契約実行高全体では、前年同期比16.6%増
- ・成約高についても、概ね契約実行高と同様の展開
- ・成約高全体では、前年同期比14.7%増

1. 2014年3月期 第3四半期実績報告

7) 営業貸付事業の営業状況 (連結) (一括ファクタリングを除く)

契約形態別契約実行高

(単位: 億円)

	2013/3期 第3四半期	2014/3期 第3四半期	前年同期比
立替・APF・割賦バック	8	41	401.2%
個別ファクタリング	645	549	▲14.9%
診療報酬債権流動化	82	19	▲76.9%
企業融資	315	420	33.2%
その他	145	90	▲38.2%
計	1,196	1,118	▲6.5%

業種別契約実行高

(単位: 億円)

	2013/3期 第3四半期	2014/3期 第3四半期	前年同期比
官公庁	2	3	21.1%
民需	1,194	1,116	▲6.5%
サービス業	112	63	▲43.7%
流通業	153	82	▲46.4%
製造業	589	591	0.4%
金融業・保険業	91	105	15.1%
不動産業	58	109	86.9%
その他	190	166	▲12.9%
計	1,196	1,118	▲6.5%

・契約形態別の契約実行高については、診療報酬や個別ファクタリング等で前年割れとなるものの、企業融資については前年同期比増加となる。営業貸付事業全体では、前年同期比6.5%減

・業種別では、リース取引に結び付く製造業に注力

1. 2014年3月期 第3四半期実績報告

8) リサ事業の営業状況 (営業利益)

(単位: 億円)

		2013/3期 第3四半期	2014/3期 第3四半期	前年同期比
アセットビジネス	売上高	78	198	152.8%
	売上総利益	34	123	262.4%
	営業利益	23	106	362.3%
不動産	売上高	172	23	▲86.8%
	売上総利益	▲5	2	▲144.0%
	営業利益	▲10	▲0	-
アドバイザー	売上高	4	5	30.0%
	売上総利益	3	5	39.1%
	営業利益	0	1	-
連結ベース 計	売上高	254	225	▲11.3%
	売上総利益	33	130	289.2%
	営業利益	7	99	1,414.5%

連結ベースでの収益貢献拡大

<<アセットビジネス>>

・大型の営業投資有価証券売却や、買取
債権回収益の安定的な獲得等により、
営業利益は前年同期比大幅増

<<不動産>>

・事業撤退に伴う保有不動産の売却売上
減少、賃貸料収入減少により減収

<<アドバイザー>>

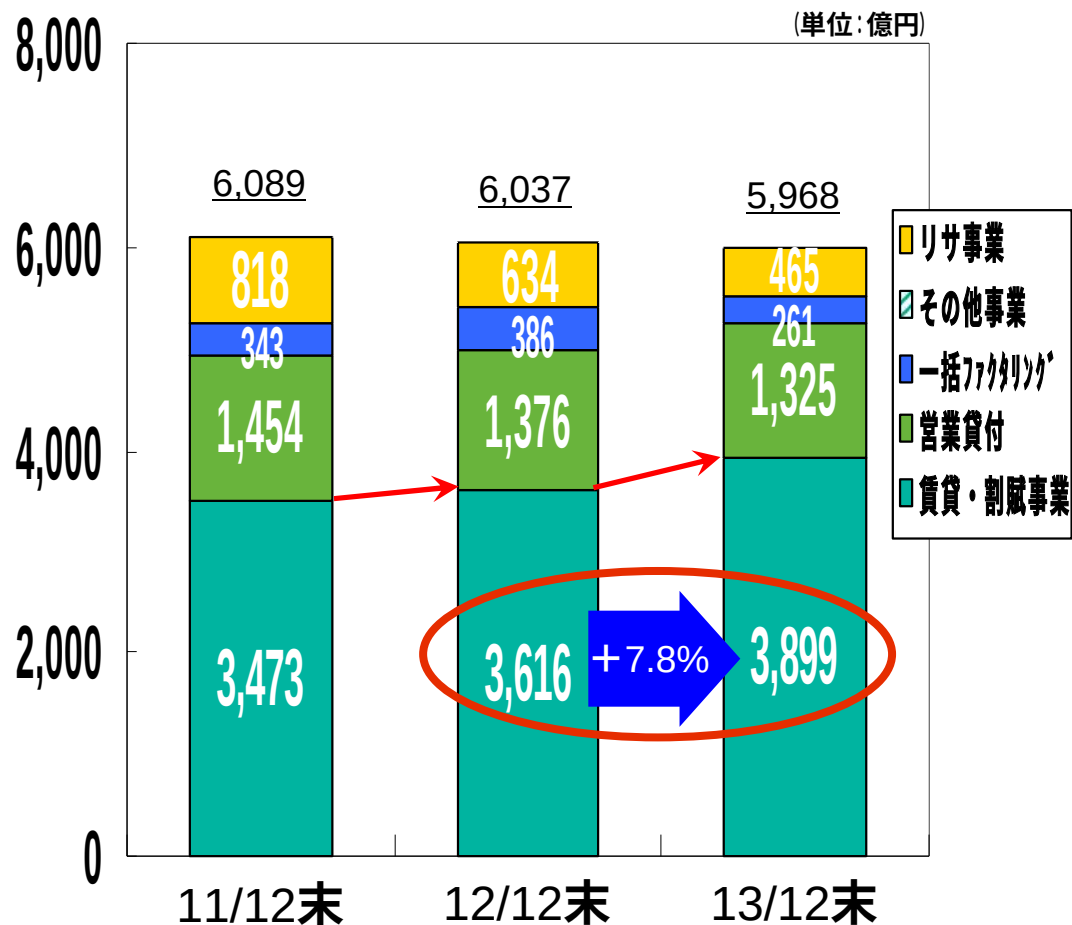
・官民ファンドの収益拡大により前年比増

※「調整額 (のれん償却費他)」は除いて表示

また、期ズレ案件については金額的なインパクトが大きいことからセグメントに計上

1. 2014年3月期 第3四半期実績報告

9) 営業資産残高の状況 (連結 小口除く)



<参考>

小口事業残高	727	488	265
小口含む 営業資産残高	6,816	6,524	6,233

<<営業資産残高>>

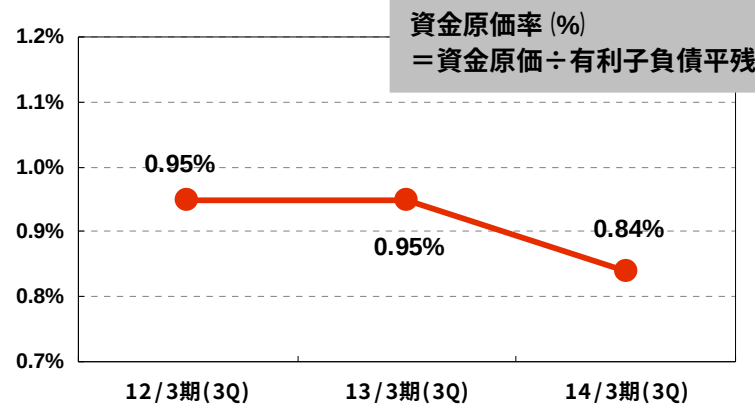
- ・小口事業を除く貸貸・割賦事業は、前年同期末比7.8%の増加
- ・営業貸付は51億円の減少
- ・[リサ事業内訳]
販売用不動産については、事業撤退に向けた取組の結果、減少となっている
営業投資有価証券については、大型の売却等があり、前年同期末比大幅に減少

	12/12末	13/12末	前年増減
販売用不動産	114	94	▲19
営業投資有価証券	111	38	▲73
買取債権	183	168	▲15
投資有価証券	136	92	▲44
営業貸付金	90	72	▲18
	634	465	▲169

1. 2014年3月期 第3四半期実績報告

10) 資金調達の状況 (連結)

資金原価率

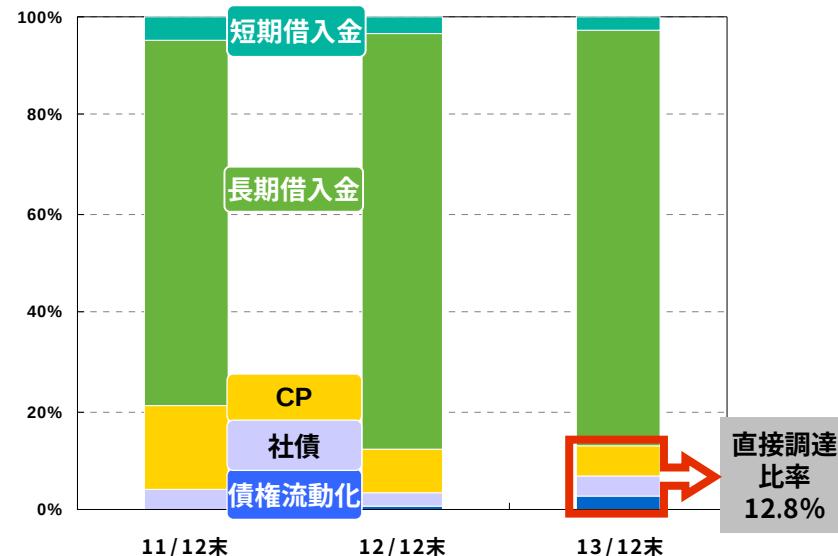


有利子負債残高

(単位: 億円)

	2013/3期		2014/3期		増減
	第3四半期末	構成比	第3四半期末	構成比	
短期借入金	215	3.5%	150	2.6%	▲65
長期借入金	5,123	84.5%	4,937	84.7%	▲186
CP	530	8.7%	340	5.8%	▲190
社債	150	2.5%	250	4.3%	100
債権流動化	42	0.7%	153	2.6%	112
計	6,059	100.0%	5,831	100.0%	▲229

有利子負債構成比

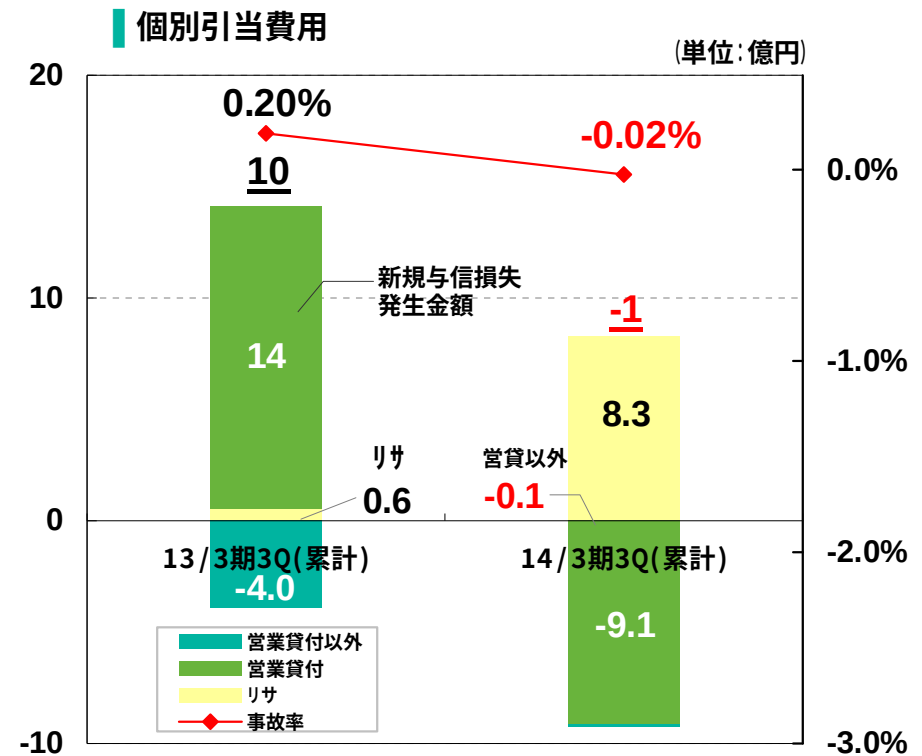
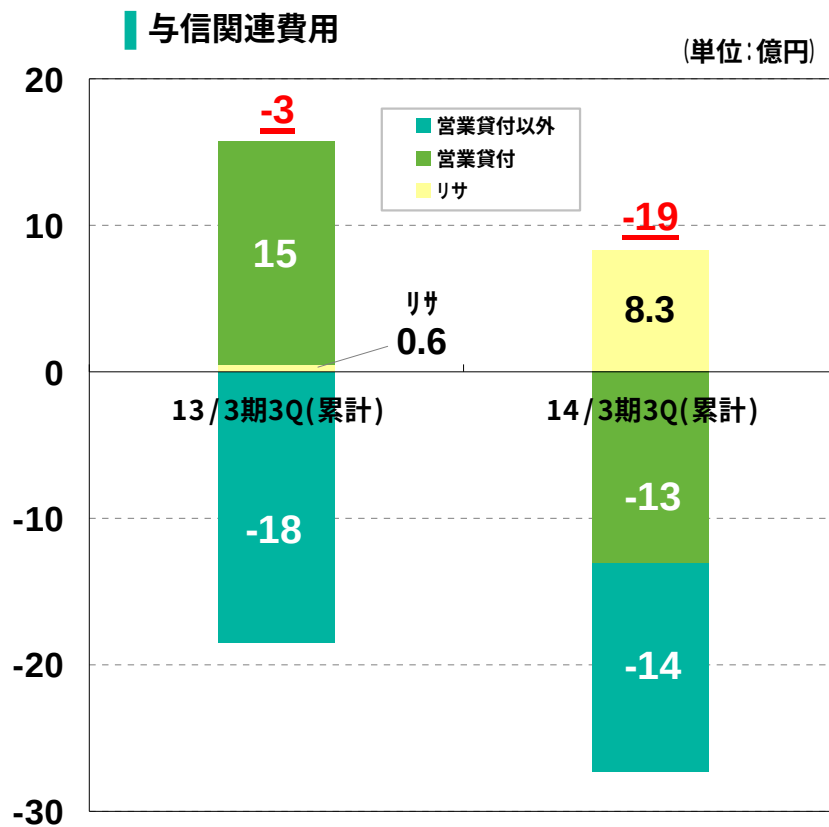


- ・ 連結後の資金原価率は0.84%
⇒前年同期比0.11%低下
⇒単体における有利子負債平残の低下に加え、グループ資金調達の一元化による、資金効率の改善を図った結果、前年同期比0.11%減となる
- ・ 直接調達比率は増加
(2012/12末 11.9% → 2013/12末 12.8%)
※年限の長期化を目指し、1月に第4回社債を発行

1. 2014年3月期 第3四半期実績報告

11) 与信関連費用 (連結)

- ・ 与信関連費用は、前年同期比16億円改善 (内、一般5億円改善)
- ・ 個別引当費用は、引当先の債権残高減少や正常化に伴う貸倒引当金の戻入等により、11億円減少



事故率 (%) = 新規倒産損失発生金額 ÷ (営業資産平残 + 破産更生債権平残)
 新規倒産損失発生金額 = 破産更生債権 + 懸念債権

2. 2014年3月期計画

1) 連結業績予想

連結業績予想

(単位: 億円)

	実績		予想	
	2013/3期 通期	2014/3期 第3四半期累計	2014/3期 通期	対通期予想 進捗率
売上高	2,292	1,722	2,300	74.9%
営業利益	91	162	170	95.4%
経常利益	94	166	170	97.6%
純利益	43	49	50	98.7%
1株当たり純利益 (円)	201円23銭	229円16銭	232円20銭	-

1株当たり配当金

	第2四半期末	期末	年間
2014/3期予想	22円00銭	22円00銭	44円00銭
2013/3期実績	22円00銭	22円00銭	44円00銭

本資料に記載されている株主・投資家向け情報は、投資勧誘・保証を目的として作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、ご利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。

本資料に記載されている当社の計画、戦略および業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。

また、本資料に記載されている経営目標は予想ではなく、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものでもありません。むしろ、経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績等は、さまざまな要因により、見通し等と大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、当社の事業領域を取り巻く経済情勢及び規制や法令の変更、潜在的な法的責任、当社のサービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力などがありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

当社による将来予測に関する記述は、その日現在のものであることをご承知おきください。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、リスクや不確定要因があるため、将来予測に関して記述されていることが実際には起こらない場合もあります。これらの記述に全面的に依拠することは控えるようお願いします。

Empowered by Innovation

NEC